

校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

No.36

令和2年5月22日 文責 校長 林 寛



臨時休業前は、鮮やかな緑色だった麦畑も、一面黄金色になりました。新型コロナウイルスの関係でこれまでに経験したことのない日常が続いていますが、自然界の変化は、今までと変わりありません。元の生活に戻るためには、まだまだ時間がかかりそうです。5/20(水)の全校朝会(放送)では、この後も日本中、世界中が力を合わせていくことが重要になってくるので、その一人としてマスクの着用や手洗いなど、小さなことだけどみんなで力を合わせていこうという話をしました。



1学期の延長(7/31まで)

月曜日に各家庭に「1学期の期間延長と夏季休業の期間短縮について」というプリントを配布しました。町教委と町内小中学校の話し合いで、臨時休業によって遅れた学習の進度を補うための措置です。東脊振小では、4月に登校した2週間で3月までの積み残しの内容を実施し、新学年での学習を始めていました。各教科の授業時数は、国が標準時数を学年別に定めていて、その時数に合わせて当該学年の指導内容を教えています。この時数は、年間に35週間授業を進めれば達成できるように設定されています。子供たちは年間に41週くらい登校しているので、授業時数だけを考えれば、楽に指導内容を実施することができます。(なぜ、授業時数が足らなくなるかという、学校では授業の時間だけではなく、入学式や卒業式、体育大会や遠足などの学校行事の実施とその準備や練習に時間を費やしているからです。)今年のように新型コロナウイルスの影響で、いろいろな学校行事を中止にすると、そこに費やしていた時間を教科の指導に充てることができます。授業時数は、確実に集計し、実施時間が不足にならないように計算しています。1学期の期間延長で、今のところ時間数は大丈夫なので、遅れをとり戻すために授業の進め方のスピードを上げる必要もないと考えています。しかし、今後の感染状況により再度臨時休業となれば、厳しくなることもあります。みんなで力を合わせていきましょう!!

学校教育目標とめざす児童の姿

本来なら、PTA 総会の場で保護者の皆様に説明したかったのですが、今年度の学校教育目標を右の様にしました(「校長室だより」の表題には4月から上げていたので、気づいておられた方もおられたかと思えます)。夢や目標の設定を支え、その実現に向かっていく子供たちの成長を学校、家庭、地域でサポートしていきたいと思えます。

また、「こんな児童になってほしい」というめざす児童の姿(重点行動目標)を「優しく賢くそして遅しく」とし、子供たちにもわかりやすく覚えやすい言葉にまとめました。

2か所の児童玄関と各教室に掲示をしています。学校経営方針については、学校のホームページにも詳しくのせていますので、一度のぞいてみてください。

吉野ヶ里町立東脊振小学校
学校教育目標

「夢に向かって輝く」児童の育成

優しく 賢く そして遅しく 東脊振の子～

優しく 賢く そして遅しく

ひ 人の話を心から聴く子ども

が 頑張り抜く心をもった子ども

し 自然や友達の心の変化に気づく子ども

せ 精一杯体を動かす子ども

ふ ふる里を愛する子ども

り 立派なあいさつができる子ども

注意

休校が明けて、視力検査をしています。休み中の生活の影響なのか、視力の低下が見られる子供が目立つようです。保健室から検査結果が届くので、確認をお願いします。ゲームやYou Tubeは時間を決めておきたいですね。

学校 HP

